

【第19回】南島学術シンポジウム
6月29日(土)午後3時より9時 @ギャラリーGALA

昭和30年、40年代。まだ、スーパーマーケットは珍しく、コンビニやファミレスは影もなかった。しかし路上には、むき出しの庶民の営みがあった。道遊び、食堂、学び、社交の場とし、天下の公道から日々の糧を得る人ひとの姿が当然のようにあった。

わたくしの育った鹿野、新宮ならば……魚の行商傘の修繕、くず鉄買い、夏なら「コン」も、冬ならお好み焼きの屋台も。

インドでは、道に生まれる道に屍をさらす人ひとの群れがいた。

家族を食わしていき、世間と伍してやるぞ、身を立てるぞ。店舗もなく小資本だけ、知恵と工夫で世の中を渡つてやるぞ。そんな不敵な面魂の彼らが日本から消えていった(仔細に見て行くと、現代でも、豆腐の引き売りの野口屋など、新しい種類の大道商人が生まれてい



Speaker
和賀正樹
編集者として働く傍ら、アジアを放浪しては失われゆく大道商人を記録してきた。著書に『大道商人のアジア』(小学館)がある。



いまのうちに覚えてみよう。近代化
II 西洋化 II 民主化なのか。近代を
呪詛しつつ、90年代の終わり、ザツ
クをかっついて野良犬のように、与
太歩きを始めた。

谷川健一さんの「小さき神々に
做つていうならば、「小さき人び
と」はやがて近代化著しい東南ア
ジアからなくなっていくだろう。

会費

カンパ制 (任意)

場所

ギャラリー GALA
世田谷区梅が丘 1-26-5-2F (小田急線梅ヶ丘駅南口徒歩1分)
<http://www.gala-fudoki.com/>

参加
連絡

090-4713-1299 (稲垣一雄)
080-5085-2477 (橋爪太作)
info@tokarajuku.sakura.nc.jp

主催

文化結社トカラ塾 (<http://www.tokarajuku.sakura.nc.jp/>)

